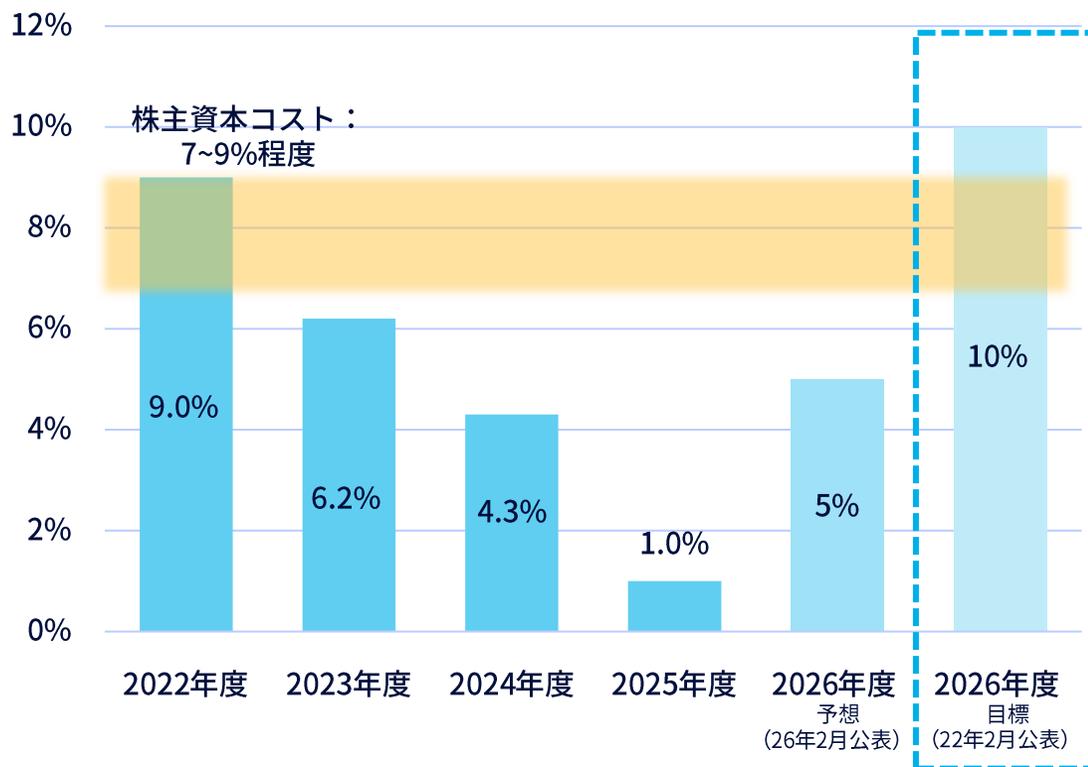
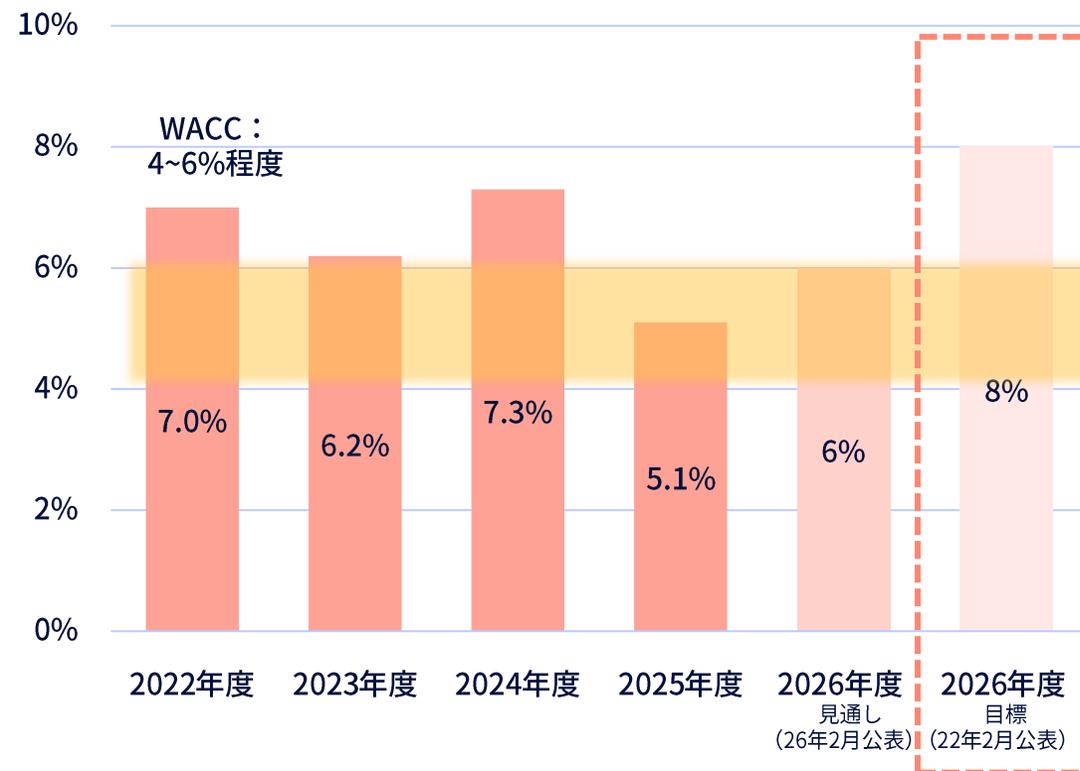


- CAPM※1ベースと市場期待水準の乖離等を考慮すると、株主資本コストは7~9%程度、WACC※2は4~6%程度と推定

ROE



ROIC

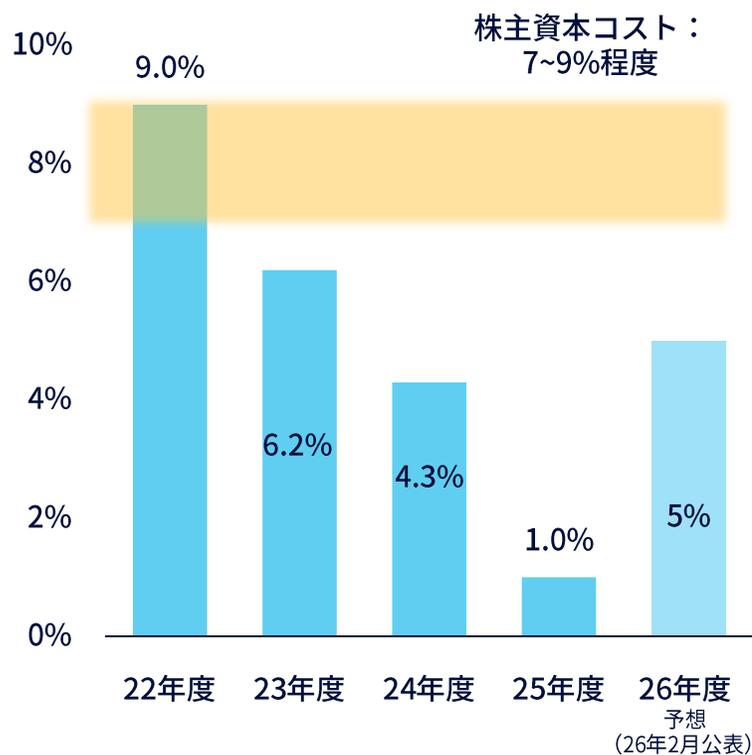


※1 CAPM : Capital Asset Pricing Model (資本資産価格モデル)

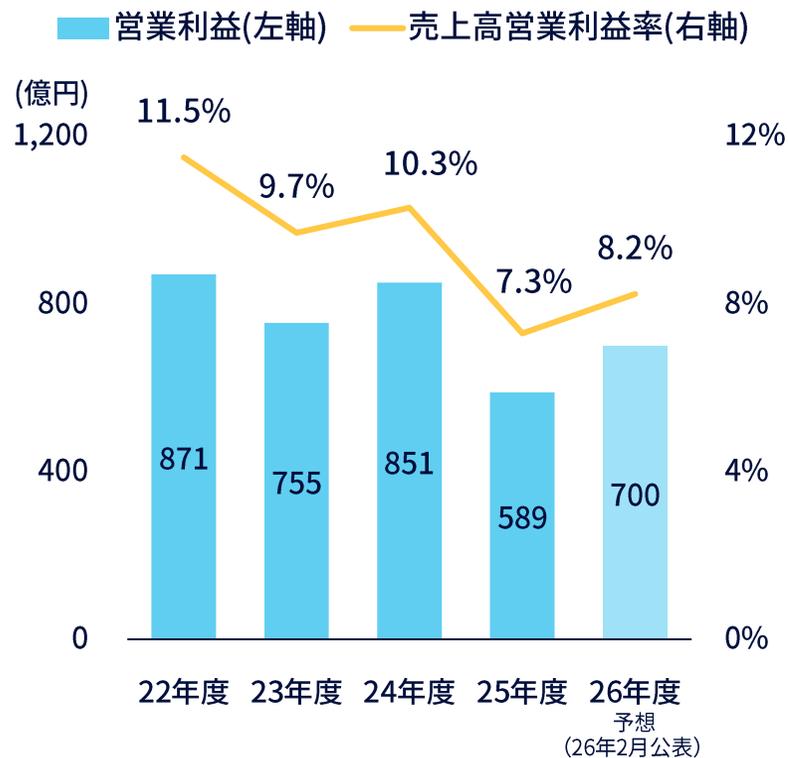
※2 WACC : Weighted Average Cost of Capital (加重平均資本コスト)

- ROEは、当社が推定する株主資本コスト(7~9%程度)を3年連続で下回る
- 事業ポートフォリオ高度化に伴う特別損失に加え、2025年度は事業環境悪化で営業利益が低下

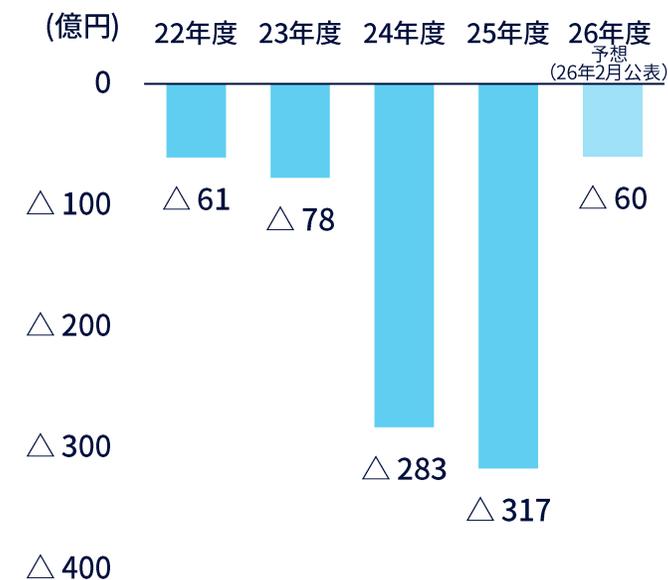
ROE



営業利益・売上高営業利益率



特別損益



- 中期経営計画「PASSION 2026」の各施策を着実に実行し、企業価値の向上につなげる

資本効率の向上、株主還元の充実

- 社会・環境価値、経済的価値に加え、市場成長性の3軸で事業評価し、ポートフォリオを高度化。ROICを活用し資本効率を改善・向上
- 成長投資やM&Aを通じ、資源配分を重点的に行う事業を強化、拡大。投資効率を意識して実施
- 2025年に新たな株主還元方針を策定し、株主還元を充実

ROEの向上、10%の早期達成を目指す

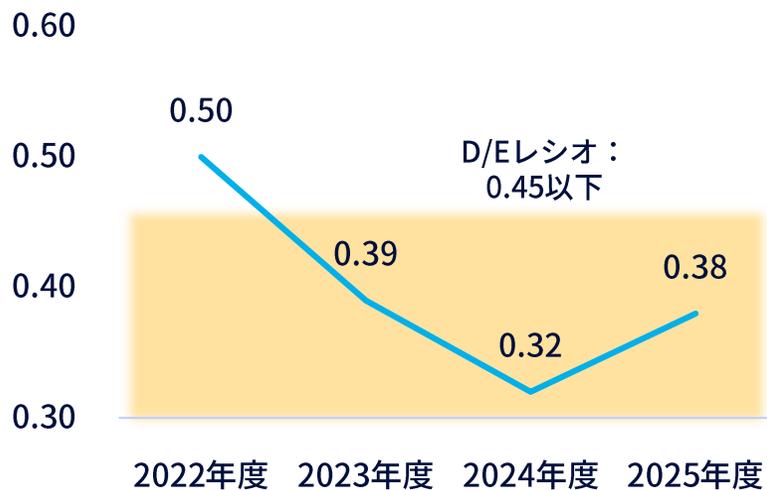
イノベーションの創出、継続的な利益の拡大、成長ストーリーの共有・理解深化

- イノベーションネットワークセンターと研究開発本部の両輪でイノベーションの創出を加速
- 〈エバール〉、〈ジェネスタ〉、活性炭、歯科材料等の成長・拡大。イソプレレン事業、繊維事業の収益改善
- GHG排出削減計画の着実な実行に加え、環境貢献製品が創出する市場価値を製品・サービス価格に反映
- 個別対話や経営説明会を通じて当社の成長ストーリーを株主や投資家と共有し市場での理解深化に努める

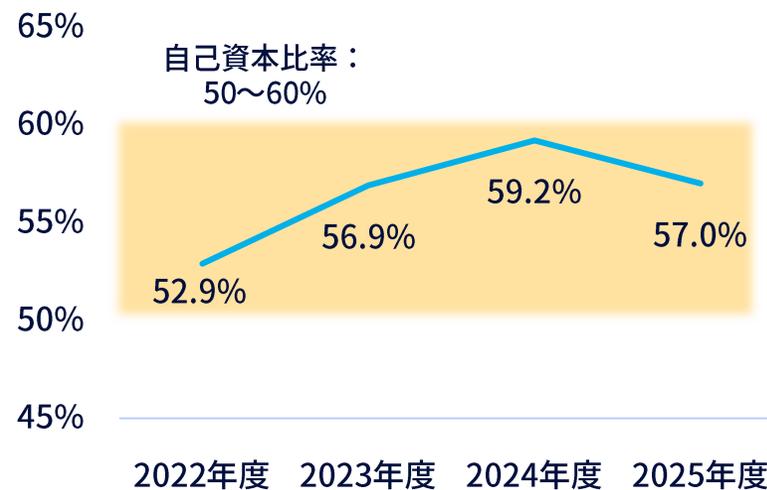
PERの向上

- 自己資本比率50%～60%、D/Eレシオ0.45以下を目安とした財務運営（中期経営計画「PASSION2026」における資本政策）
- 円安で為替換算調整勘定が増加するも、適切に資本コントロール

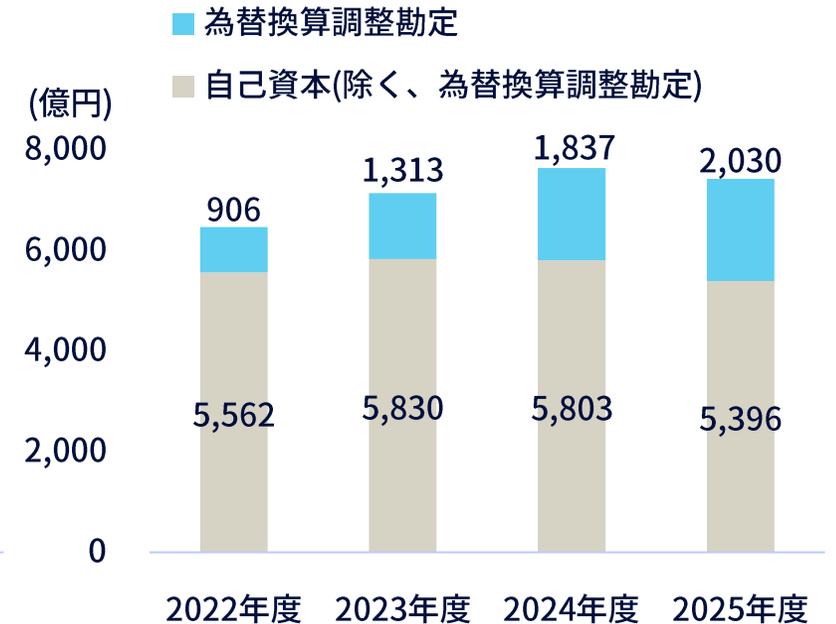
D/Eレシオ



自己資本比率



為替換算調整勘定等



5年間のキャッシュアロケーション (2022~2026年)

- 営業キャッシュフローは設備投資と株主還元にあてる
- M&Aは1,000億円程度を想定し、必要に応じ資金調達を実施



株主還元方針

- 総還元性向 50%以上
- 1株当たり配当金の維持・増額
- 自己株式取得：継続的实施を目指す

